

環境大賞10周年イベント開催

カテゴリ：平成28年度

投稿日：2016年04月05日

平成28年3月30日（水）、荏原平塚総合区民会館「スクエア荏原」で環境大賞10周年記念イベントが開催され、多くの区民が参加し、楽しいひと時を過ごしました。記念イベントでは、環境講演会、しながわ環境啓発ミュージカル、みどりの顕彰式や環境ワークショップがありました。その中の一部をご紹介します。

（1）エコトバコンクール表彰式

しながわ環境大賞は、今年度で10回目を迎えることから、エコトバコンクール最優秀賞・企業賞と、エコ・クッキング選手権最優秀賞の表彰がありました。



企業賞↑【エコトバコンクール】最優秀賞↑
株オーケーエンタープライズ様 城南第二小学校 田中里奈さん

（2）環境講演会

講師は、東京海洋大学 名誉博士 客員准教授のさかなクンです。

さかなクンは、東京海洋大学客員准教授として、お魚を通じて漁業・魚食、環境問題や低炭素社会の実現に向け全国各地で積極的に講演を行なっています。2010年には絶滅したと思われていたクニマスの生息確認に貢献するなど、様々な活動で大活躍中です。

今日のお話は、「ギョギョッとびっくり！おさかなと環境のはなし」でした。

さかなクンの魚に関する知識の豊富さに対する驚きはもちろん、その話術にみんなが引き込まれ、会場では笑いが絶えませんでした。環境問題についてとても興味深い話を聞くことができました。

講演後、さかなクンが描いた絵を持っての写真撮影ができました。



（3）環境ワークショップ

午前中には4つの環境ワークショップが開催され、それぞれのテーマに合わせ、大人から子どもまで環境について学ぶとともに、楽しい工作などに取り組みました。

①ペーパークラフトで地球観測衛星「だいち」を作ろう（小学3年生～中学生）

「だいち」は陸地の状態を詳しく観測し、地図作成、地域観測、災害状況把握、資源調査などに貢献しています。



②水平型日時計制作（小学3年生～中学生）

日時計の原理を学びながら、日時計作りに挑戦しました。



③風呂敷の活用（大人）

こんな使い方ができるのか！「目からウロコ」でした。



④どんぐりを使ったオブジェ作り（小学生）

かわいい作品がいっぱいできて、おうちに持ち帰ることができました。



カテゴリ：平成28年度

投稿日：2016年04月05日

平成28年品川区の桜

カテゴリ：平成28年度

投稿日：2016年04月12日

気象庁は、今年の東京の桜の開花日は3月21日、満開は3月31日と発表しました。品川区ではどうだったでしょう。品川区の桜の多くは4月3日（日）前後に満開（*）を迎えたのではないのでしょうか。2日（土）、3日（日）には各地で桜祭りが開かれていました。この週末の天気は、時々雨が降るといった花見には生憎の天気でしたが、多くの会場は花見客で大いに賑わっていました。

（*）つぼみの八割以上が開いた状態を言います。

まずは立会道路からかむろ坂、目黒川へと、桜の名所で花見を楽しみました。



（左写真）立会道路の桜は、ここ昭和大学病院前から西小山駅付近まで1km近く続きます。

（中右写真）かむろ坂では桜祭りが開かれており、右写真の先の屋台付近は大変な人だかりで、歩くのもままならない状態でした。



「目黒川お花見クルーズ」の観光客は船からの花見を満喫したことでしょう。

4月に入り、桜の満開の便りが聞かれるもののお天道様は意地悪で、1日に4時間ほどの日照があったものの、2～5日はほとんど太陽が顔を出しませんでした。しかし、6日には久々に晴れたため、最後の満開の桜を撮ろうと出かけました。

まずは、居木橋から見る目黒川（左）と御殿山庭園（右）です。



続いて、戸越公園（左）、文化の森（中・右）です。



区役所前のしながわ中央公園です。



以上、品川区環境情報活動センター取材

【今年は品川区環境記者の方々からも多くの桜の記事と写真をお送りいただきました。】

当センターのホームページ（下記）に掲載していますので、是非ご覧いただきたいと思います。

4月第2週目の週末にも花見ができたところがあったようです。

桜：しながわ区民公園～しながわ花海道（勝島運河）（2016年04月05日）

桜だより～東品川 編（2016年04月05日）

街中の桜とこぶし（2016.4.2）（2016年04月05日）

品川区の桜～東エリア（2016年4月1日）（2016年04月06日）

平成28年 品川のさくら（大森⇄大井町間、JR東側）（2016年04月07日）

チェリーブLOSSAMを愛でて・・・（2016年04月07日）

旗岡八幡神社境内の桜（2016年04月08日）

桜を求めて花海道を・・・（2016年04月08日）

大井水神公園桐畑アンダーパス脇の湧水池の昨今（2016年04月08日）

まだまだ観られました、満開の桜（4月8日）（2016年04月12日）

カテゴリ：平成28年度

投稿日：2016年04月12日

ツツジの季節です

カテゴリ：平成28年度

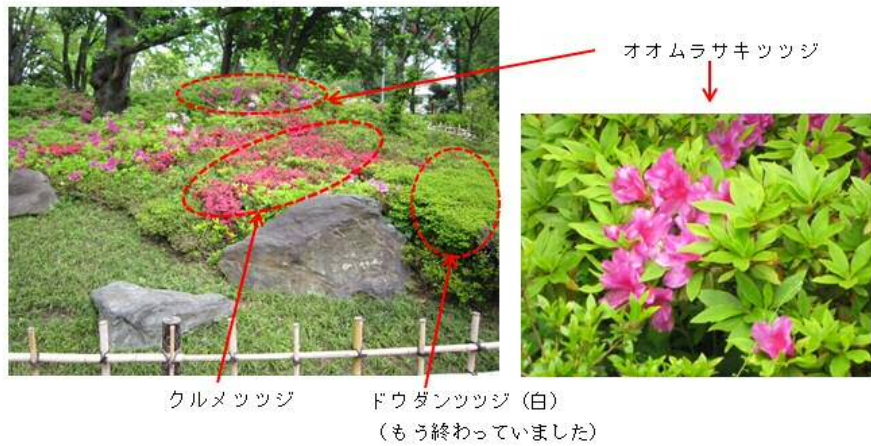
投稿日：2016年05月02日

桜が終わったかと思えば、もうツツジの季節になりました。街路、公園、生垣など、いろいろなところで赤やピンク、白と、様々な色のツツジが私たちを楽しませてくれています。

品川区の花はサツキですが、ツツジとサツキの違い、わかりますか？
サツキはツツジの一種でサツキツツジとも呼ばれ、4～5月に咲くツツジに対し、その後5～6月に咲きます。

4月27日、戸越公園で花の手入れをしている方に聞いたところ、一般的にツツジに比べサツキは、花、枝、葉いずれも小さいとのことでした。これからゴールデンウィーク後に咲くツツジは遅咲きですとおっしゃっていました。

戸越公園



池田山公園



街路



カテゴリ：平成28年度

投稿日：2016年05月02日

山中小学校で空き缶踏み

カテゴリ：平成28年度

投稿日：2016年06月01日

平成28年5月19日（木）、山中小学校で毎月1回恒例の「空き缶踏み」が行われました。この活動はPTAが主催し、10:25～10:50の25分間の休み時間を利用して、当番のクラス児童全員が参加して行われます。現在山中小学校は全11クラスで、月ごとに当番のクラスが交代するため1年で全クラスが1回は行うこととなります。今日は6年生（1クラス）の担当です。

空き缶踏みを行うに当たり、先生から事前に「けがをしないよう」、「空き缶は足でつぶすこと」、「缶をけらないこと」、「投げないこと」、「素手でさわらないこと」などの注意の後、始まりました。

みんな元気よく缶をつぶしました。



先生から注意を聞きました。



元気よく空き缶踏みを行いました。



PTAの保護者が、踏みつぶした缶を回収し、リサイクル袋に入れました。この後、回収業者に渡します。

空き缶は、児童や保護者、近所の方たちに持ってきていただいたもので、「季節によって集まる飲料の中身の違いがあるのが面白い」との保護者の方のお話でした。

また、この活動1回で平均20kgほどの重量になるとのことで、1缶15～20gとすると1,000個以上の個数になります。

カテゴリ：平成28年度

投稿日：2016年06月01日

‘しながわE C Oフェスティバル2016’開催

カテゴリ：平成28年度

投稿日：2016年06月03日

5月22日(日)、透き通った青空の下で‘しながわE C Oフェスティバル2016’が開催されました。当日の東京の最高気温は29.3℃で、強い日差しが降り注ぎ、日向では夏を思わせる暑さでした。



(1)このイベントでは「ごみゼロ」を目指しました。

出展者のごみはご自分でお持ち帰りいただきました。ごみの量は毎年低水準を保っているようですが、これには参加者皆さんの協力が第一です。模擬店で買った弁当など、食べた後の容器、紙コップ、割り箸は、使った人が自分で「ごみ・資源回収場所」へ持って行き、分別するのは今や自然な行動になっています。



(2)公園会場の使用電力

公園会場における使用電力は廃油を再利用したバイオ燃料を使った自家発電とグリーン電力によって賄われていました。

(3)エコカー

水しか排出しない次世代エコカー「燃料電池車」（左下写真）と、環境にやさしい「電気自動車」（右下写真）の乗車体験ができ、筆者（環境情報活動センター担当者）も「燃料電池車」に乗りました。電気自動車もそうですが、走行中は非常に静かでした。どちらも走行中に二酸化炭素を全く排出しないという共通点があり、これまで問題とされていたコストとインフラの整備が進み、今後の実用化がさらに進むことでしょう。



(4)小学生が保護者と参加したワークショップ

アニメワークショップ、ペットボトルで雲作り実験、絵手紙とけしゴムはんこ作り、アクリルたわしとボンボン飾りづくりなど、楽しい工作や実験がありました。



その他にもたくさんの企画があり、参加者は楽しい1日を過ごすことができましたと思います。

カテゴリ：平成28年度

投稿日：2016年06月03日

‘エコライフ・フェア2016’に行ってきました

カテゴリ：平成28年度

投稿日：2016年06月07日

平成28年6月4日(土)、代々木公園で開催されていた‘エコライフ・フェア2016’(5日(日)も開催)に行ってきました。このイベントは、毎年6月の環境月間に全国各地で展開される行事の中の主たる行事の一つとして、環境省、関係地方公共団体、関連法人、業界団体、企業及びNGOが連携して実施しているものです。今年も70ほどの団体が、「しぜん」「ちきゅう」「せいかつ」「NGO・NPO」「フォレスト」の5つのゾーンに分かれて出展していました。その中で、「ちきゅう」「せいかつ」のブースを見てきました。そう、ごみの分別収集は当たり前ですね。



多くのブースでは環境に関するクイズなどで参加を呼び掛けていました。その一部をご紹介します。

エアコン(冷房)の設定温度は? PM2.5とは? 地球温暖化の原因になっている主な気体は? などの三択問題で、今ではみんなが知っていること、解答しやすい問題で、参加しやすくしていました。

また、地球温暖化やカーボンオフセットについて、小型家電のリサイクルとその大切さについて、ペットボトルは何に生まれ変わるのか等など、基本的問題から、一般消費者にはまだまだなじみの薄い情報、‘へ〜〜そうなの?’といった様々な事柄まで、幅広く紹介されていました。



さて、みなさんご存知ですか?

・家庭で不要になったパソコン(*)は、パソコンメーカーが回収・リサイクルすることを。

(*)「PCリサイクルマーク」が付いたもの(2003年10月以降に販売された家庭向けパソコン)

・不要になった本やCDを地球環境基金に寄付してみませんか。

送料無料で引き取ってもらえます。買取金額が地球環境基金に寄付されます。

なお、詳しくは、それぞれパソコンメーカー、地球環境基金のホームページをご覧ください。

当センター(品川区環境情報活動センター)が開催した環境学習講座で講師を務めていただいた、あるいはお世話になっている企業や団体の出展もあり、その企業・団体の環境への前向きな取り組みがうかがえました。

(環境情報活動センター取材)

カテゴリ : 平成28年度

投稿日 : 2016年06月07日

レジ袋に涙!?...国際短編映画祭2016地球を救え!部門

カテゴリ：平成28年度

投稿日：2016年06月28日

平成28年6月23日(木)、無料イベント「SHORT SHORTS FILM FESTIVAL & ASIA 2016」国際短編映画祭の「Save The Earth」地球を救え！部門に行ってきました（二子玉川ライズ）。映画祭は今年で18年目、「国際」なので突然の英語でカッコよく司会が始まるのですが、概ね日本語の解説、映画も勿論字幕付きです。上映作品の作者が会場に居る場合もあって、開催側と観客がとても近い印象の楽しい映画祭でした。



環境問題関係の部門は2008年から続いていて、世界の映像作家がそれぞれの国の課題、感性、表現方法で地球と向き合っている...そんな作品が集まっていた。オチが一瞬?となる作品もありましたが、短編なので凝縮されていて非常に観やすい（1作品2分~20分、計80分程度）。全9作品、「地球を大切に」という世界の共通認識が理解の手助けにもなります。

アニメ作品においても事実に基づいての警鐘があり、レジ袋にこんなに感情移入...ちょっと涙するなんて...とストーリー性に富み、詩情豊かな作品もあります←⑨「レジ袋の旅Plastic Bag」。個人的には⑧「人生を駆け抜けるRunning Through Life」⑥「ペトロリアムUnleaded」という作品も好きでした。あと⑦「七五郎沢の狐Sicigorousawa un Cironnop」もアイヌ文化を題材にした素晴らしい作品でした。

(映画祭HP、Youtubeなどで導入部など視聴可能)

フェイスブックと連動したPeatixというチケットシステムで簡単に予約が出来ますが、当日券も十分に残っていました。今年は渋谷・横浜・二子玉川がこの部門の会場でした。「来年も無料で開催予定です」というお話だったので、お近くの会場へ是非！おすすめです♪

<http://shortshorts.org/2016/>

(*HPURL記載・カタログ画像使用について、会場にいらしたPRマネージャの方に了承済です)

カテゴリ：平成28年度

投稿日：2016年06月28日

気象・環境テクノロジー展'、'猛暑対策展'で情報収集

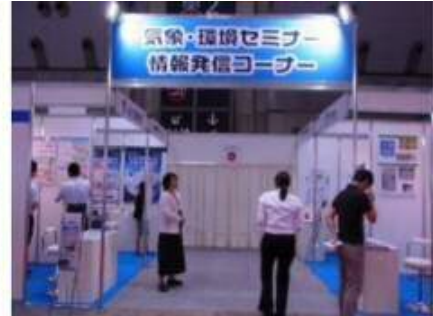
カテゴリ：平成28年度

投稿日：2016年07月26日

平成28年7月20～22日、東京ビッグサイトで開催されていた'気象・環境テクノロジー展'、'猛暑対策展'に行き、最新の気象情報や、企業現場での様々な環境改善に向けた取り組みについての情報に触れてきました。

1. 気象・環境テクノロジー展

気象情報提供企業に対する気象情報の配信や地図情報のサービス、気象システムの提供サービスなど。機器類では気圧計・雨量計・日射計、レーダー関係がありました。変わったところでは、東京スカイツリーの活用方法についての紹介もありました。



2. 同時に開催されていたセミナーを聴講してきました。

「気候変動問題の最新の動向について」（環境省 地球環境局 気候変動適応室室長 補佐 藤井進太郎氏）（1）地球温暖化の科学的知見（2）世界が合意したC O P 2 1（パリ協定の特徴・意義）（3）気候変動の影響への適応計画について（4）自治体等の取組の促進について以上の話を聴くことができましたが、環境省の動画「気候変動への挑戦ダイジェスト」（<https://www.youtube.com/watch?v=r9KSqLZj2vi>）でさらに確認したいと思います。上記の動画は当セミナーで紹介されたものではありませんが、大いに参考になると思います。

3. 猛暑対策展

暑熱、熱中症対策を中心とした展示が目にとまりました。



（左上）屋外冷房システム 涼霧システム （右上）気温や湿度などから、今いる環境の熱中症の危険性を知らせる器具を紹介していました。

その他、注目した出展は以下です。水の気化熱を利用して涼しい風を出すECO冷風機、建材用の遮熱シート、屋根・壁用の遮熱塗料や窓ガラス用の遮熱塗料、屋根散水システム、空調服、空調ヘルメット、冷却下着ベスト型、首に巻いて体温を下げ

るクールスカーフ、水に浸すだけでひんやりのクールタオル・クールハンカチ等々。これらは主に、作業現場での環境改善を目的とした提案です。

カテゴリ: 平成28年度

投稿日: 2016年07月26日

戸越銀座で打ち水大会

カテゴリ：平成28年度

投稿日：2016年07月28日

7月24日（日）戸越銀座・平塚二丁目町会で打ち水大会が行われました。前夜から町会会館に泊まった小学1～6年生56人の町会児童が、9時過ぎに戸越銀座通りに集まり、「打ち水はじめ！」の号令の下、一斉に打ち水を開始しました。

開始時の気温は28.8℃、30分間の打ち水を楽しみました。気温は・・・数値は若干下がることもありましたが、あまり変化はありませんでした。しかし、吹く風は少し涼しくなったように感じました。これも打ち水の効果です。効果のある打ち水は、朝あるいは夕方が効果的ですが、今回は子ども会での前泊のため朝の開催となったとのことでした。



打ち水の後、水着に着替えてドジョウつかみ、すいか割りを楽しみ、放水体験もしました。



その後、ソーメン流しをして、午後2時に散会しました。

カテゴリ：平成28年度

投稿日：2016年07月28日

「目黒のさんま祭り」盛大に開催

カテゴリ：平成28年度

投稿日：2016年09月08日

今年も「目黒のさんま祭り2016」（主催：品川区目黒駅前商店街振興組合、後援：品川区）が、品川区目黒駅前商店街で盛大に開催されました。朝方降った雨の影響で、例年よりはやや少なかったとのことですが、それでも2万人超の来場者がありました。

岩手県宮古市より新鮮なさんま7,000匹に、徳島県神山町からのすだちと栃木県高林の辛味大根の大根おろしが添えられ、長い人では3時間待ちをした人もいたようですが、最高に美味しいさんまに舌鼓を打っていました。



さいたま市から来たとおっしゃるお二人は2時間半待ったとのことでした。でも美味しいさんまに満足されたことでしょう。



食べ終わった後のごみは専用のごみ箱に入れられ、周囲にごみは全く落ちていませんでした。主催者の準備と来場者のマナーに拍手！発生した大量のごみは、燃えるごみと燃えないごみに確実に分別されていました。



《こぼればなし》

品川区の方をご存じのはずですが、ここ目黒駅の所在地は品川区です。ちなみに品川駅は港区にあります。

駅名は「目黒」だが、駅の所在地は品川区。当初は目黒村（現・目黒区）に設置される計画だったが、農業に悪影響を及ぼすなどの理由で地元住民の猛烈な反対でルート変更を余儀なくされ、目黒川の東岸の大崎村（現・品川区）に設置された。

＜「駅名・地名不一致の事典」（浅井建爾著／東京堂出版）

カテゴリ：平成28年度

投稿日：2016年09月08日

秋桜まつり開催（立会川・勝島運河環境美化運動20周年記念）

カテゴリ：平成28年度

投稿日：2016年10月03日

平成28年9月11日（日）、勝島運河土手（東大井2丁目6番～7番地先）において、NPO法人しながわ花海道主催「秋桜まつり」開催され、あいにくの雨模様のなか、コンサート、盆踊り大会、運河クルーズなどが行われました。「立会川・勝島運河環境美化運動」の一環で、設立から20周年の記念行事でした。

しながわ花海道は2002年品川区立会川、鮫洲両商店街の有志が中心となり、「しながわ花海道プロジェクト」の名称で活動を開始しました。勝島運河の護岸約2kmに菜の花やコスモスを植え、お花畑にするとともに、護岸上部の清掃を進め、地域住民の憩いの場所や地域の活力につながる場所づくりを目指しました。2016年5月NPO法人しながわ花海道として、さらなる活動をスタートさせました。

活動を始めた2002年頃、この勝島運河は大変汚れていましたが、現在では多くの方々が歩道の散歩を楽しむようになり、菜の花とコスモスが咲き乱れるころには遠方からの観光客も増え、観光資源としても注目されてきています。さらに周辺には坂本龍馬像、浜川砲台、鈴ヶ森刑場跡などのほか、しながわ水族館、大井競馬場などもあります。



よさこいのコンサートでは、狭い運河沿いのステージで8名の踊り手ほか、旗を振る方も大活躍でした。民謡のコンサートでは、地元の大塚文雄一門8名が華麗な歌声を披露しました。



雨に降られた運河沿いの道には模擬店、売店のほか花海道周辺の写真パネルの展示がありました。東大井在住の方が撮影した写真は、ユリカモメ、コサギ、コアジサシ、ホシゴイなどさまざまな鳥、コスモス、菜の花、芝桜はもちろんだリア、オニユリ、バラなどの花が表現され、自然豊かな勝島運河がよく分かりました。

乗船した30分間の運河クルーズは、大人500円、子供300円、未就学児は無料。屋形船から見上げる花海道はいつもと違った印象で、写真にあったコサギが川の中にいてびっくり。カワウが桟橋の杭の上に止まっていました。そして大井ふ頭海浜公園、品川清掃工場に加えて、遠くにはレインボーブリッジが眺められました。



花海道にはごみが落ちていません。活動が始まったころにはドブ川のようなようだったという話を聞いたことがあります。20年で美しくなった勝島運河沿いの道を誇らしく思いました。



カテゴリ：平成28年度

投稿日：2016年10月03日

第29回しながわ夢さん橋2016

カテゴリ：平成28年度

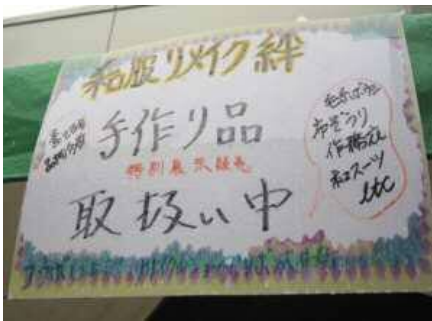
投稿日：2016年10月17日

平成28年10月8・9・10日の3日間、大崎駅周辺において「第29回しながわ夢さん橋2016」が開催されました。このイベントは「ひと・まち・企業が奏でるシンフォニー」をテーマに地元の人々と、地域のお店や企業、地方の生産者の方々が一つにつながる大崎の“手づくりイベント”です。

8日は展示・青空バザール・ステージイベントなどが行われ、あいにくの雨模様のなかでしたがたくさんのお客さんと賑わっていました。ステージでは日本音楽高等学校の生徒さんによる歌や演奏が行われ、素敵な音楽と共にイベントを楽しむ事ができました。また、消防車やショベルカーに乗れる体験ではたくさんの子供たちが目を輝かせていました。



青空バザールでは、当センターで講師としてお世話になっている「リメイク絆」の皆さんが出展されていました。



使わなくなった着物やネクタイ・タオルなどの古布を使って、服やバックなど素敵な作品を作っている団体さんです。午前中の激しい雨の中でもたくさんのお客さんが来てくださり、開始2時間でだいぶ売れたそうです。



素敵な作品たちはリメイクだからこそできる安さで販売されていました。お話し中の「捨てちゃダメよ」という言葉がとても印象的で、捨てる前にまずは再利用を考える事がエコにつながる事を感じました。

カテゴリ : 平成28年度

投稿日 : 2016年10月17日

「えこえこまつり2016」開催

カテゴリ：平成28年度

投稿日：2016年11月24日

平成28年10月29日（土）、大井倉田児童センターで「えこえこまつり」が開催されました。10年以上続いているこのイベントの今年のテーマは、「遊びと体験を通して‘かんきょう’ってなんだろう？ みんなですこし考えてみよう！」です。当日は約300人の児童、幼児と保護者の参加があり、法政大学の学生ボランティアの協力もあって盛大に開催されました。

1. ステージショー

(1)環境戦隊エコレンジャー登場

様々な自然の力を持った戦士が、ごみのポイ捨てなどと戦う内容です。2ステージ構成で、前半でゴミをポイ捨てした子どもがさらわれ、後半で助け出すといった構成で、必殺技も「3R」を意識している技でした。



(2)自然・環境科学実験

①空気には重さがある ②ペットボトルで雲作り ③空気砲 ④気圧を感じよう
などふしぎがいっぱいの実験にみんなくぎづけで、ペットボトルで雲作りや空気砲を実際に試してみました。



2. 個別コーナー

それぞれのコーナーでは楽しい体験が出来ました。

(1) 不思議実験室！…虹模様の見える「分光シート」のおみやげもありました。

- ①斜めに立つ350ml缶 ②宙に浮くコップの水 ③水でへこむペットボトル
- ④二酸化炭素は空気より重い ⑤万華鏡いろいろ ⑥光の三原色

(2)牛乳パックからエコはがきを作ろう

(3)たたたタワー～廃材でめざせ建築家～

(1) 不思議実験室！

(2) エコはがき作り

(3) たたたタワー



参加者のみなさんは午後のひと時を楽しんでいました。

カテゴリ：平成28年度

投稿日：2016年11月24日

大井町駅西口イルミネーションの点灯と照明器具のLED化

カテゴリ：平成28年度

投稿日：2016年11月25日

環境にやさしいLEDライトが、大井町駅西口に彩りを添えています。10月29日に点灯式があり、来年1月9日まで毎日楽しむことができます。このイルミネーションは、約16万球のLED電球が、区役所通りからJR大井町駅西口までと、西口バスロータリー周辺にあるケヤキ、球体のオブジェに、さらに低木にも設置されており、大井町駅周辺に幻想的な光を放っています。

今年は同駅東口のペDESTリアンデッキにもイルミネーションが施されており、こちらは3月下旬まで楽しむことができますということです。



LEDライトが消費電力の節約になることはよく知られていますが、現在どれくらい普及しているのでしょうか。また、今後の普及はどのようなのでしょうか。ある調査によると、LEDの普及率（ストック）は2013年8月現在で23%とあります。

一方、経済産業省のエネルギー基本計画によると、「今後大幅な省エネ性能の向上が見込まれる高効率次世代照明（LED照明、有機EL照明）については、2020年までにフローで100%、2030年までにストックで100%普及させることを目指す」とあります。

「LED照明産業を取り巻く現状 2012年11月29日」

（経済産業省商務情報政策局 情報通信機器課）

今後10～15年で照明器具のほとんどがLEDになっていることとなります。

「フローで100%」：照明器具は出荷段階でほとんどLEDにする。（部品は除く）

「ストックで100%」：使われている照明器具をLED100%にする。

カテゴリ：平成28年度

投稿日：2016年11月25日

品川区の紅葉（もみじ）

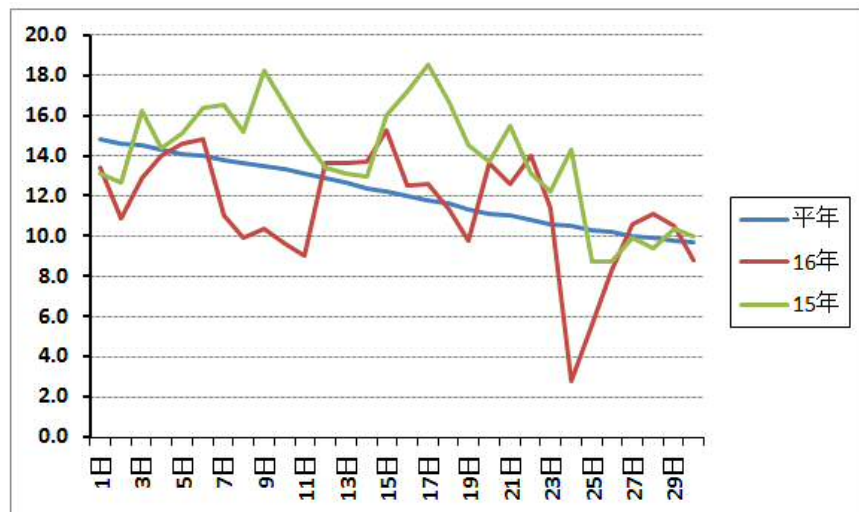
カテゴリ：平成28年度

投稿日：2016年11月30日

11月下旬、品川区内の公園で、紅葉したもみじを觀賞してきました。この時期、最後の紅葉觀賞が楽しめる時期で、桜の紅葉はほとんど終わっていました。東京の今年11月の気温は平年に比べ1℃近く低く、その分紅葉の時期は早かったのではないかと思います。一方、去年は平年に比べ2℃近く高く、かなり遅くまで紅葉見物ができたようでした。

このように、自然の営みから季節の到来を知らされることが多いように思います。

【東京 11月の日ごとの平均気温】



池田山公園（撮影11月25日）



戸越公園（撮影11月25日）



しながわ区民公園（撮影11月25日）



御殿山トラスティシティ・御殿山庭園（撮影11月27日）



（環境情報活動センター取材）

カテゴリ：平成28年度

投稿日：2016年11月30日

‘エコプロダクツ2016’開催

カテゴリ：平成28年度

投稿日：2016年12月16日

12月8日（木）から10日（土）まで、東京ビッグサイトで開催されていた日本最大の環境イベント“エコプロダクツ2016～環境とエネルギーの未来展”に行ってきました。

今回は「地球温暖化対策と環境配慮」と「クリーンエネルギーとスマート社会」を2大テーマに掲げ、「エコプロダクツ」から「エコプロ～環境とエネルギーの未来展」へと進化すると伝えていました。今回はイベントタイトルにある「未来」に着目して取材を行いました。

（1）「環境未来都市」構想（「環境未来都市」構想推進協議会・2016年版資料より）

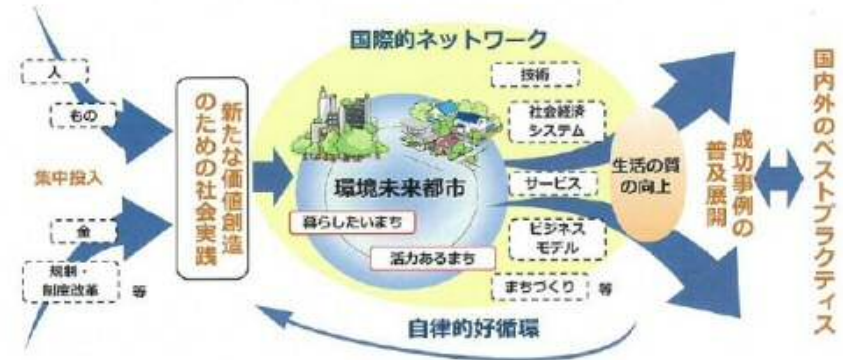
この構想は、平成23年に内閣府が発表したもので、目指すものは、21世紀における世界共通の環境や高齢化の課題解決に向けて成功事例を創出し、それらを国内外に普及展開することを通じて、需要拡大、雇用創出、国際課題解決力の強化を図ることです。まずは環境の課題解決に向けて取り組む「環境モデル都市」（30都市）を選定し、その中から環境に加えて超高齢化の課題解決に向け、環境、社会、経済の3つの側面で、より高いレベルの持続可能な都市として、「環境未来都市」（11都市）を選定しています。実践の場を通してベストプラクティス、成功へのプロセス、失敗の経験などを共有しながら進めるとしています。

「環境未来都市」11都市の中に東北の6都市・地域が入っており、震災復興の関係で選定されたようです。

今後、各都市の活動に注目したいと思います。

「環境未来都市」構想が目指すもの

「環境未来都市」構想とは



↑内閣府「環境未来都市」構想推進協議会

↑環境未来都市の一例：北九州市

(2) 「未来」をテーマに掲げるブースの一部をご紹介します。

- ①新しい太陽光発電が作る未来の街
- ②みんなが変える、食の未来
- ③発見！未来の町の水素エネルギー
- ④未来の環境の為に、私たちは「水なし印刷」を選びます
- ⑤中小企業が希望を紡ぐ未来のE C Oのカ（エコビジネス）
- ⑥自動車リサイクルで美しい未来へ！&「未来のクルマ」



(3) 今後期待される「再生可能エネルギー」にも注目しました。

- ①再生可能エネルギーと固定価格買取制度についての紹介がありました。（資源エネルギー庁）

我が国の発電電力量の構成（2014年度）を見ると、水力を除く再生可能エネルギーはわずか3.2%、水力を加えても約1割と、まだまだ非常が少ないのが現状です。まずは再生可能エネルギーにはどんなものがあるのかを、資源エネルギー庁のブースで見ました。

風力、バイオマス、太陽光、地熱、中小水力発電について、パネルで紹介されていました。

面白いところでは、「空飛ぶ風力発電機」があるそうです。安定して風が吹く上空にヘリウムで風車を飛ばすアイデアで、同サイズの風車と比べ2倍の電気が作れ、騒音も少ないなどのメリットがあるということです。



また、東京都は水素社会の実現に向けた取組を進めており、'水素情報館・東京スイソミル'では、「目に見えない水素・・・見て触って体験しながら楽しく学べる総合的な学習施設です」と紹介していました。一度訪れてみたいと思います。なお、水素エネルギーは水素と酸素が反応する時に発生する電気を利用し、燃料電池自動車や家庭用としても普及が始まっています。

以上

(品川区環境情報活動センター取材)

カテゴリ : 平成28年度

投稿日 : 2016年12月16日

‘エコプロダクツ2016’に品川区も参加

カテゴリ：平成28年度

投稿日：2016年12月22日

品川区も「オール東京62市区町村共同事業『みどり東京・温暖化防止プロジェクト』」の中で参加しました。

(1) 品川区の環境活動紹介

①‘しながわ環境啓発ミュージカル’・・・区内の小学生がプロといっしょに熱演！平成28年3月30日に地球環境保護をテーマとしたオリジナルのミュージカルを熱演しました。

②間伐って何？・・・区民公園をエコピクニック

しながわ区民公園では、公園内の不要な木を切る間伐で出た木材や枝、落ち葉などをリサイクルする「公園内リサイクル ゼロ・エミッション活動」を進めており、夏休みに「こどもECOツアー」を開催しました。また、間伐材を使ったワークショップも行いました。

③品川区のスタンプラリークイズ

事業として進めている「SHINAGAWA“もったいない”推進店」は、「〇〇ロス」を減らすお店を紹介する事業です。〇〇に入る言葉は・・・「食品」です。



(2) ワークショップ

環境情報活動センター職員（気象予報士）による「ペットボトルで“雲”を作ろう」実験を開催し、小学生から大人の方まで、30名の参加がありました。某市の市長さんも雲を作る実験に参加してくださいました。また、気圧の高低による袋菓子の袋が変化する実験もあり、小学生は驚きを楽しんでいました。



「ペットボトルで“雲”を作ろう」実験



「気圧の高低による袋菓子の袋の変化」実験

(3) ステージ

環境保護につながる日常行動についての知識を、寸劇を通して行うオリジナル戦隊ヒーロー「エコレンジャーショー」が朋優学院高等学校アトラクション部員によって行われ、116名という多くの方々に観ていただきました。



(品川区環境情報活動センター取材)

カテゴリ : 平成28年度

投稿日 : 2016年12月22日

新江東清掃工場見学会

カテゴリ：平成28年度

投稿日：2017年02月14日

2017年1月25日（水）東京都環境公社中防管理事務所主催の「清掃工場・埋立処分場見学会」に行ってきました。場所は江東区にある「新江東清掃工場」（江東区夢の島3-1-1）と「中央防波堤埋立処分場」（江東区青海3丁目地先）を、大型バスで巡る参加費無料のコースで、おおむね月一回開催されています。

東京テレポート駅に朝9時20分集合、30分に新江東清掃工場に出発して施設を見学、12時テレコムセンター付近で各自昼食後、環境局中防庁舎で学習、その後中央防波堤外側埋立処分場、廃棄物処理施設を見学して、15時東京テレポート駅に戻ってくる、大変充実したコースでした。当日の参加者は成人34名、男性が多く女性は6名、年齢は幅広く、建設関係の仕事をしている方が多いように感じました。

新江東清掃工場は平成10年9月末にしゅん工し、一日当たり1800トンのごみを焼却できる大規模な清掃工場です。可燃ごみは焼却することで容積が20分の1に減り、埋立処分量を削減することができます。

工場に着いてから二つのグループに分かれて出発しました。私と同じグループの方は18名で、プラットホーム（収集車で運搬されたごみは、ここからごみバンカに投入されます）、ごみバンカ（ごみをためておく施設）、中央制御室、灰バンカ（焼却した灰を貯蔵する施設）などを見学しました。清掃工場の見学者は23区内の清掃工場全体で年間約50000人、うち45000人は社会科見学の小学生で、大人の見学者は5000人ほどだそうです。



プラットホーム

中央制御室

灰バンカ



新江東清掃工場6階から見た風景



奥の建物は夢の島熱帯植物園（手前空地は旧江東清掃工場跡地）

新江東清掃工場6階から見た風景 奥の建物は夢の島熱帯植物園（手前空地は旧江東清掃工場跡地）

ごみは可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ、資源に分けられます。可燃ごみは清掃工場焼却され、不燃ごみは細かく砕いて容積を小さくして埋め立てられます。不燃ごみの中に含まれている鉄やアルミニウムは資源になり、選別して回収されます。粗大ごみは可燃系と不燃系に分けたあと、破碎して処理されます。古紙・びん・缶・ペットボトルなどは分別回収でおなじみですが、各区市町村で品目の回収方法が異なります。

テレコムセンターで各自昼食を済ませたあと、環境局中防合同庁舎に向かい、ビデオを見ながら学習しました。庁舎のある中央防波堤内側埋立地は昭和48年から61年

まで13年をかけて埋め立てが終了した78万㎡の土地です。現在は外側埋立処分場、新海面処分場が埋め立てられています。埋立は環境に配慮し、再資源を利用するよう工夫されています。埋立処分場に降った雨水は、埋め立てられたごみの層にしみ込み、処分場内にしみだします。汚れた水を集水池に集め、その後調整池に移され、排水処理場、下水道局砂町水再生センターを経て、きれいにしてから東京湾に流されます。予算の半分は水の処理にかかっているそうです。



水の色の変化

バスに乗って、粗大ごみ破碎処理施設など中間処理施設を見学した後、広大な埋立処分場を回りました。バスからは今まで見たことのない、荒涼とした風景が広がり、高さ30mの見晴らし台からは東京23区最後の埋立地、新海面処分場が見えました。



埋立地（新海面処分場側）

埋立地（ゲートブリッジ側）

東京23区のごみ量は、平成元年度には490万トンと過去最高に達しましたが、その後減少を続けて、平成26年度に278万トンに下がりました。限りある処分場を一日でも長く使えるよう、ごみの減量に配慮したいですね。

新江東清掃工場を見学しているとき、火の点いた物がごみの中に入り、清掃車の火災が起こったことがあるということでした。

また、可燃ごみの中に金属・ガラス・布団・家具などの不適正なごみが搬入されると、清掃工場の焼却炉の停止や故障につながることもあるそうです。気をつけて適正な処理を心がけたいと感じました。

東京23区のごみ埋立処分場は、東京湾の中の荒川河口から多摩川河口に至る区域内にあるそうです。東側は千葉県、南側は神奈川県が管轄となり、貨物船等の航路など考えると新海面処分場が東京港内に設置できる最後の埋立処分場になります。

「埋め立て終わったら、どうするか？」という小学生の質問には、「一日でも長く埋立処分場が使えるようごみをもっと減らすよう協力してください。」と話されるそうです。大人も子どもも一人ひとりができること、3R「Reduce」（ごみになるものを減らす）、「Reuse」（捨てずにまた使う）、「Recycle」（もう一度資源として生かす）を心がけたいものです。

カテゴリ：平成28年度

投稿日：2017年02月14日